

## 令和4年度津山市生涯学習関連事業実施報告

基本目標	基本施策	事業数
<b>I 学ぶ</b> 学びを通じた自己実現	1 生涯学習の啓発推進と学習機会の充実	51件
<b>II 活かす</b> 学んだ知識や経験の活用	2 学びを支え、つなげる人材の育成・活用	10件
<b>III つなぐ</b> 人、地域、世代を結ぶつながりづくり	3 生涯学習を通じた持続可能なまちづくり	52件
<b>IV 創る</b> 希望あふれるまちづくり	4 生涯学習を推進するための基盤整備	5件
	5 希望あふれるふるさと津山の創造	13件
合 計		131件

事業の評価結果	事業数	%
○ (達成している 71%以上)	118件	90.1%
△ (一部達成している 31~70%)	7件	5.3%
× (達成していない 30%以下)	6件	4.6%

事業番号	基本施策	事業名	事業目的・事業内容等	主催者	実施年月日	実施場所	対象者	R4計画 参加予定人数 (評価基準値)	R4実績 (参加人数等)	担当部課室名	事業評価 (達成度)	備考等
1	4	津山市、美作大学及び津山高専との包括連携協定に基づく協力	三者の経営資源を相互に活用する事業を検討及び実施し、単独では達成できない事業効果を生むことを目的とする。これにより、地域産業の振興や市民の文化、学術レベルの向上に繋げる。	津山市・美作大学・津山高専	通年	—	学生 一般市民	—	—	高等教育機関 連携室	○	各部局が美作大学及び津山高専と協力するとともに、代表者会議や部会を通じて事業の検討と評価を実施。
2	3	自主防災講座	災害による被害を軽減するためには、個人での備え(自助)や助け合い(共助)が重要である。講話を通じて防災意識の高揚を図る。	津山市	随時	各町内会公会堂等	地域住民	20～50人/回	35回 1,201人 (34人/回)	危機管理室	○	市の対策本部が示す「イベント開催指針」に従って実施。
3	1	人権を考える市民のつどい	人権尊重の理念についての普及・高揚を図ることを目的に、毎年度開催している。 人権週間(12/4～12/10)	津山市・津山市教育委員会	11月27日	グリーンヒルズ津山リージョンセンター	一般市民	100人	100人/回 (1回)	人権啓発課	○	予定どおり実施 アンケート実施(満足度93%) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、定員を少なく設定し、参加申込みも事前に受けて開催した。開催にあたっては、換気回数を増やし、増設した席の間隔についても狭めることなく、感染症対策にも注意しながら開催した。
4	1	人権教育出前講座	すべての場に、人権が自然な形で溶け込んでいくような社会を作り上げるために、企業や団体、町内会の集まり等へ、講師の派遣を行う。	津山市	随時	市内一円	一般市民	250人	460人 (10回)	人権啓発課	○	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により予定より申込みが少なかったが、津山市の職員研修も復活し、予定していた人数の184%を達成できた。
5	1	さん・さん祭り	男女共同参画社会について考える場を提供するとともに、その実現をめざして活動する登録団体の交流と活動発表を実施する。 合わせて男女共同参画センター「さん・さん」が実施する事業の紹介とPRを行う。	津山市	7月9日 7月10日	津山男女共同参画センター「さん・さん」他	一般市民	500人	444人	人権啓発課	○	予定どおり実施 新型コロナウイルス感染症の影響等で学習会や展示点数も例年より少なかったが、参加人数も予定の約9割近くあった。
6	1	「さん・さん」セミナー	男女共同参画に関する現代的な課題に対応した学習機会の提供を行う。 自分自身について考え、自己決定を促すための講座等を開催する。	津山市	①7月9日 ②7月10日 ③12月4日 ④2月25日 ⑤3月2日	津山男女共同参画センター「さん・さん」他	一般市民	20人/回	①12人 ②64人 ③28人 ④8人 ⑤6人	人権啓発課	○	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、人数を多少制限しながら行った。

事業番号	基本施策	事業名	事業目的・事業内容等	主催者	実施年月日	実施場所	対象者	R4計画 参加予定人数 (評価基準値)	R4実績 (参加人数等)	担当部課室名	事業評価 (達成度)	備考等
7	1	「さん・さん」おんな・おとこ塾	男女共同参画に関する現代的な課題に対応した学習機会の提供を行う。 実習などの参加型の講座を開催する。	津山市	1月14日	津山男女共同参画センター「さん・さん」他	一般市民	10人/回	20人	人権啓発課	○	予定どおり実施した。
8	1	「津山市史だより」刊行事業	市史編さん事業の進捗状況の報告や、執筆者による調査研究の最新情報を提供することにより、市民の学習に資するもの。	津山市	年2回発行 (9月・3月)	市史編さん室	成人	3回	2回	市史編さん室	△	原稿執筆・編集等の状況により、年間3回の刊行予定をページ増のうえ年2回に変更した。
9	1	「津山市史研究」刊行事業	市史編さん事業における最新の調査・研究成果の発表や新発見資料の紹介によって、事業の進展を市民に周知し、よりレベルの高い郷土史学習に資するもの。	津山市	年1冊	市史編さん室	成人	1冊	1冊	市史編さん室	○	予定どおり刊行。
10	3	新成人への選挙啓発	津山市成人を祝う会で選挙啓発パンフレット等を配布し、選挙や投票することの大切さについて理解を深め、意識の高揚を図る。	健全育成課	成人を祝う会 開催日当日	成人を祝う会会場	新成人	850人	705人	選挙管理委員会事務局	○	1/8(日)、挙行の津山市成人を祝う会にて来場者705名に選挙啓発パンフレットを配布した。
11	3	高等学校への選挙出前事業	選挙権年齢が18歳になったことで高校3年生も投票することが可能となった。これに伴い、選挙管理委員会の職員が各学校に赴き、講義や模擬投票を行う「選挙出前授業」を実施することで、主催者教育の推進を図る。	選挙管理委員会	10月11日 1月17日	市内高等学校	高校生	250人	560人	選挙管理委員会事務局	○	美作高校へ出前講座で、10月に3年生274名及び1月に2年生286名、合計560名を対象に「生徒が社会の中で生きていることを実感し、社会の構成員としてこれからの担い手を育て、社会並びに選挙に感心を持つことを目的」として実施した。
12	1	租税教室	地方税関係機関と国税関係機関が協力し、税務署管内市町村の租税教育の推進と充実を図るため、小中学校へ税務職員を派遣し租税教室を実施するもの。	津山税務署管内租税教育推進協議会	10月13日	広野小学校	6年生	50人程度	20人	税務部税制課	○	今年度、津山税務署管内租税教室推進協議会から本市へ割り当てられた市内小学校の6年生への租税教室については、予定どおり実施。 小学校側からの租税教室の申請状況や外団体からの派遣人員との兼ね合いにより、実施小学校が1校となったことで参加人数は少なくなった。しかし、参加児童は意欲的に学習に取り組んでおり良い反応が得られたため、事業目的は十分に達成されたと判断した。

事業番号	基本施策	事業名	事業目的・事業内容等	主催者	実施年月日	実施場所	対象者	R4計画 参加予定人数 (評価基準値)	R4実績 (参加人数等)	担当部課室名	事業評価 (達成度)	備考等
13	5	水の学校	小学生に市内の河川で水生生物や水質の調査を体験させるとともに、水環境への関心を高め水質汚濁防止を図る。	津山市	7月31日	宮川	小学生及び保護者	15人	16人	環境生活課	○	新型コロナウイルス感染症対策として定員と実施時間を減らして実施。アンケート実施(満足度80%)
14	5	森の学校	市民が、森で生物観察、間伐、炭焼きなどの活動を体験できる機会を提供し、森林資源と環境への関心を高め、山林の保全を促す。	津山市	2月26日	久米山	小学生及び保護者	20人	20人	環境生活課	○	新型コロナウイルス感染症対策として定員と実施時間を減らして実施。アンケート実施(満足度100%)
15	3	親子エコフェスタ2022	地域における環境問題や地球温暖化防止活動について考え、環境保全意識の高揚を図る。	親子エコフェスタ実行委員会	6月1日 ～30日	アルネ・津山、ソシオー番街	小学生及び保護者	500人	不明	環境生活課	○	展示・工作の参加者数は不明。クイズラリー参加者は85人。
新規	3	地球温暖化対策出前講座	脱炭素社会実現につなげるため、住民の地球温暖化対策に取り組む意識の高揚を図る。	津山市	9月8日	中央公民館	栄養委員	40人	40人	環境生活課	○	令和4年度より、健康増進課主催の栄養教室にて実施。エコドライブ等の身近で取り組みやすい温暖化対策について説明。
16	3	地域交流促進事業	各種教室講座を開催し生涯学習の機会の提供に努め市民相互の交流促進を図る。 【講座内容】 健康体操教室、ヨガ教室、手芸教室など	津山市・各会館	随時	福岡会館 加茂中原会館 公郷会館 大久保会館 柳会館	一般市民	3,500人	3,443人	生活福祉課	○	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため定員を減らし開催。参加者の高齢化により、参加人数が徐々に減少傾向となっている。
17	2	ふれあい作品展	障害者(児)が、絵画、作品等の作成を通じて創作の喜びを味わい自らの障害を克服する勇気と能力を育てる。あわせて社会の障害に対する正しい認識を深める。	ふれあいスポーツ大会実行委員会	12月5日 ～9日	市役所市民ホール	津山地域の障害者・障害児・その家族、ボランティア、福祉関係者、市民全般	500人	500人	障害福祉課	○	予定どおり実施(新型コロナウイルス感染症対策としてスタッフを配置せず実施)

事業番号	基本施策	事業名	事業目的・事業内容等	主催者	実施年月日	実施場所	対象者	R4計画 参加予定人数 (評価基準値)	R4実績 (参加人数等)	担当部課室名	事業評価 (達成度)	備考等
18	2	ふれあいスポーツ大会	三障害者合同でスポーツ大会を開催。ボランティアとの交流により障害者に対する知識・理解を深める。	ふれあいスポーツ大会実行委員会	5月29日	津山総合体育館	津山地域の障害者・障害児・その家族、ボランティア、福祉関係者	100人	100人	障害福祉課	○	新型コロナウイルス感染症対策に留意しながら実施。
19	2	ふれあい村	三障害者合同で障害者と市民とのふれあいの場を設定。障害者に対する正しい理解を深める。	ふれあいスポーツ大会実行委員会	12月5日	イオンモール津山	津山地域の障害者・障害児・その家族、ボランティア、福祉関係者、市民全般	450人	150人	障害福祉課	△	新型コロナウイルス感染症対策に留意しながら実施。通常は、市役所東駐車場で盛大に開催しているが、今回は初の試みで会場を変更して実施した。周知期間が短かったため、来場者は目標に届かなかった。
新規	2	出前手話講座	市民等への手話の普及・啓発を図り手話に対する理解の促進を図る。	障害福祉課	①11月18日 ②3月6日 ③3月27日	①大崎公民館 ②まなびの鉄道館 ③Ziba Platform	民生委員 館職員 中高生他	—	①20人 ②6人 ③8人	障害福祉課	○	令和4年度より実施。
20	3	津山市認知症サポーター養成講座	認知症に対する正しい知識を持ち、地域等において認知症の者や市の家族を支援する認知症サポーター等を養成することにより、認知症の者やその家族が住み慣れた地域で安心して暮らし続ける地域づくりを推進する。	津山市地域包括支援センター	随時	各町内会の公会堂等	一般住民	600人	719人	高齢介護課	○	新型コロナウイルス感染症対策に留意しながら実施。感染拡大の状況により中止となったものもあったが、予定人数の養成ができた。
21	3	めざせ元気!!こけないからだ講座	介護予防や閉じこもり防止のため、各町内会の公会堂を単位として講座を実施する組織を育成し、高齢者がいつまでも住み慣れた地域で顔なじみの人たちとともに自分らしくいきいきと生活を送ることが出来るようにしていくことを目的として実施する。	高齢者を中心とした地域住民	毎週1回	各町内会の公会堂等	高齢者等	4,000人	3,008人	高齢介護課	○	それぞれの地区で新型コロナウイルス感染症予防対策を行い工夫しながら活動を継続した。
22	3	ブックスタート事業	本との出会いを通じ、乳幼児親子のふれあいを深めることをめざす。	津山市	年24回(乳児健診実施時)	「津山すこやか・子どもセンター」健診室	乳児親子	680人	614人	子育て推進課	○	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、密になる読み聞かせや説明等は省き、本やブックリストなどの配付を行った。

事業番号	基本施策	事業名	事業目的・事業内容等	主催者	実施年月日	実施場所	対象者	R4計画 参加予定人数 (評価基準値)	R4実績 (参加人数等)	担当部課室名	事業評価 (達成度)	備考等
23	2	ファミリー・サポート・センター運営事業(子育てサポート講座等)	サポート活動・子育てのための情報提供・知識・技術習得のため。	津山市	①7月29日 ②10月13日 ③11月10日 ④2月16日	男女共同参画センター「さん・さん」他	ファミ・サポ会員及び一般市民(社会人・高齢者)	40人	①11人 ②15人 ③10人 ④10人	子育て推進課	○	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、募集定員を減らして開催。 子育てに関する身になる話が聞けて良かったと参加者の満足度は高い。
24	3	ファミリー・サポート・センター運営事業(クリスマス交流会等)	会員間の親睦と一般市民向けファミリー・サポート・センター事業の周知のため	津山市	①7月9日 ②12月17日	男女共同参画センター「さん・さん」他	ファミ・サポ会員及び一般市民(乳幼児・小学生・社会人・高齢者)	30人	①18人 ②18人	子育て推進課	○	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、募集定員を減らして開催。 合計36名の参加。 イベントを通じて交流を深めることができたことと参加者からは好評であった。
25	3	ノルディックウォーク体験	第2次健康つやま21計画に基づき、身体活動・運動の領域において健康情報を気軽に入手でき、身近に運動できる仲間が増加し、運動を習慣的に行う市民が増えることを目的に、ノルディックウォーク教室を開催する。	津山市	市民から申し込みがあり次第、順次開催	市民が希望する場所にて開催	津山市民	各回5人以上	6回・延べ88人	健康増進課	○	6グループ、88人に実施。ノルディックウォークの効果と、体験会を行った。
26	3	栄養教室	健康づくりへの関心を高め、地域の食生活改善や健康増進を推進するリーダーの養成講習として開催。 ・講演、体験学習	津山市	年5回程度	津山市中央公民館	栄養委員	1回あたり20名程度	5回・延べ198人	健康増進課	○	5回、延べ198人が参加。健康づくり・生活習慣病予防のための食事や運動についての講話、体験学習を実施した。
27	2	津山市人づくり事業	津山地域の若手経営者、後継者候補、経営幹部の方などを対象に、経営的視点を養い、地域を担うリーダーを養成することを目的とする経営能力開発講座をはじめ、産業人材の育成を図る「つやま産業塾」を運営する。	津山市人づくり事業運営委員会	6月17日 7月8日 7月29日 8月26日 9月16日 10月14日 11月17日 12月16日 1月28日	津山まちなかカレッジ等	津山市民あるいは、津山市内の企業の従業員等	産業塾20人/回 市民公開講座80人	産業塾20人/回 市民公開講座75人	みらい産業課	○	予定どおり実施 アンケート実施(満足度80%以上) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、3密を回避して実施した。
28	1	西東三鬼賞	津山出身の俳人 西東三鬼を顕彰し、三鬼俳句の精神を継ぐ新しい感覚の俳句文芸の振興を目指し、作品を募集選考するもの。令和4年度で第30回を迎えた。	西東三鬼賞委員会	募集期間 4月1日 ～10月31日	-	全般	投句者数 550人	投句者数 602人	文化課 文化振興係	○	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、表彰式等は中止

事業番号	基本施策	事業名	事業目的・事業内容等	主催者	実施年月日	実施場所	対象者	R4計画 参加予定人数 (評価基準値)	R4実績 (参加人数等)	担当部課室名	事業評価 (達成度)	備考等
29	1	津山市写真展	主に美作エリアの人や景色を題材にした写真展で、写真作品発表の機会を創出することにより、写真文化のすそ野拡大と発展を目的に開催している。	津山市	展示期間 11月11日 ～11月16日	市立文化展示ホール	全般	応募者数 50人	応募者数 55人	文化課 文化振興係	○	美作地域の現在の姿を後世に遺すため、今回も県北写真連盟の後援を受け開催。新型コロナウイルス感染症が落ち着いた兆しを見せた影響もあり、前年よりも応募作品数が増加した。
30	1	津山川柳大会	川柳の創作活動を通じて情操を豊かにし、市民文芸の推進と振興を図ることを目的とし、川柳愛好者の交流の場として、川柳大会を開催。県内外から広く作品を募集する。令和4年度で42回目を迎えた。	津山市	募集期間 5月30日 ～7月25日	-	全般	投句者数 150人	投句者数 162人	文化課 文化振興係	○	新型コロナウイルス感染症対策として誌上大会で実施した。
31	1	文化財調査報告会	外部講師及び文化財保護係職員による調査報告。「登録有形文化財 翁橋のレンガ舗装面の調査」ほか2件。	津山市	5月29日	東公民館	一般市民	40人	50人	文化課 文化財保護係	○	令和3年度に予定していたが、実施できなかったため、令和4年度に実施。
32	1	美作考古学談話会	二の丸東側石垣修理工事の見学、高野山根1号墳の見学ほか1件。	津山市	①7月3日 ②11月27日 ③3月19日	文化財センターほか	一般市民	15人	7人	文化課 文化財保護係	△	参加人数が少ないため今後は周知方法や会員増加等について検討する必要がある。
33	5	古文書講座 美作の古文書を読む	美作地域に伝わる古文書の講読を通じて、読解に必要な知識を学習しながら、主に江戸時代の美作地域の歴史への理解・関心を深める。	津山市	5月・6月・7月・9月・10月・11月・1月・2月・3月の9回	郷土博物館	市民ほか	各回30人	各回23人	文化課 郷土博物館	○	予定どおり実施。
34	5	子ども歴史講座 勾玉をつくろう	古代の装飾品である勾玉づくりを体験することによって、古代の技術に触れ、歴史への理解を深める。	津山市	8月2日・8月9日	郷土博物館	小・中学生	各回10人	各回6人	文化課 郷土博物館	△	新型コロナウイルス感染症の影響も考えられるが、参加希望者が予定より少なかった。

事業番号	基本施策	事業名	事業目的・事業内容等	主催者	実施年月日	実施場所	対象者	R4計画 参加予定人数 (評価基準値)	R4実績 (参加人数等)	担当部課室名	事業評価 (達成度)	備考等
35	5	美作の文化財めぐり	美作地域を中心としながら、文化財や歴史遺産を訪ねることによって地域の歴史に対する理解を深める。	津山市	5月・11月・3月	市内各所ほか	市民ほか	延べ30人	延べ35人	文化課 郷土博物館	○	予定どおり実施。
36	1	郷土博物館だより「津博」刊行事業	郷土博物館における実施事業の紹介や、学芸員による調査研究の最新情報を提供することにより、市民の学習に資するもの。	津山市	5月・7月・11月・1月	郷土博物館	全般	4回	4回	文化課 郷土博物館	○	予定どおり実施。
37	1	地域史学習講演会支援事業	学芸員が地域のグループや町内会などに出向いて、美作地域史に関する講義講演を行い、市民のグループ学習に資するもの。	津山市	随時	市内各所	一般市民	延べ200人	延べ369人	文化課 郷土博物館	○	予定どおり実施。
38	1	文化講演会	「日本石鹼製造事始め」 講師：花王ミュージアム館長 引地聡氏	津山市	4月30日	洋学資料館	一般市民	40人	44人	文化課 洋学資料館	○	コロナ禍で3年ぶりの開催となったが、定員を満たす聴講者があり、好評であった。
39	1	令和4年度前期企画展 「津山洋学の名品展」	津山の蘭学・洋学を語るうえで貴重な資料のほか、異国文化への関心や明治の文明開化を物語る興味深い資料などを紹介する。	津山市	3月19日 ～9月25日	洋学資料館	一般市民	2,500人	4,891人	文化課 洋学資料館	○	新型コロナウイルス感染症による臨時休館がなかったため、予想を上回る入館者に観覧いただけた。
40	1	秋季企画展 「蘭学者が見た世界—箕作省吾と新製輿地全図—」	蘭学者が世界をどのように意識し、世界への視野を広げていったのかに触れながら、箕作省吾が描いた世界地図を紹介する。	津山市	10月15日 ～11月13日	洋学資料館	一般市民	1,000人	1,295人	文化課 洋学資料館	○	前年度に延期した企画を実現でき、また目標を上回る入館者が得られた。



事業番号	基本施策	事業名	事業目的・事業内容等	主催者	実施年月日	実施場所	対象者	R4計画 参加予定人数 (評価基準値)	R4実績 (参加人数等)	担当部課室名	事業評価 (達成度)	備考等
41	1	冬季企画展 「鶴田藩医能勢家資料展～ 維新の荒波を越えた漢方医 の生涯～」	鶴田藩医の能勢家伝来資料をもとに、能勢家が幕 末・維新期の波乱をどのように乗り越えたのかを紹介 する。	津山市	12月3日 ～2月19日	洋学資料館	一般市民	1,500人	1,475人	文化課 洋学資料館	○	ほぼ目標値に近い入館者が得られた。
42	1	江戸時代の化学書からの再 現実験教室	津山高専及び津山高校の協力により、宇田川裕菴が 著した日本最初の化学書「舎密開宗」に記載の化学 実験の再現によって、自然科学や郷土史への関心を 高める。	津山市	8月6日	洋学資料館	一般市民	40人	21人	文化課 洋学資料館	△	新型コロナウイルス感染症対策のため、席数を減らして開催し たが、近年やや応募者数が少なくなっている。
43	1	親子でヒンデローペンの 作品づくり	洋学資料館の展示室装飾に携わった永江絹子氏の 協力により、ヒンデローペンの絵画技法による絵付け 体験教室を開催し、オランダや洋学への関心を高め る。	津山市	7月30日	洋学資料館	一般市民	20人	13人	文化課 洋学資料館	△	やや応募者数が少なかった。
44	1	ヒンデローペン絵付け体験 教室	洋学資料館の展示室装飾に携わった永江絹子氏の 協力により、ヒンデローペンの絵画技法による絵付け 体験教室を開催し、オランダや洋学への関心を高め る。	津山市	7月31日	洋学資料館	一般市民	20人	20人	文化課 洋学資料館	○	定員を満たし、毎回好評を得ている。
45	1	オムニバス講演会	洋学資料館職員が日頃の研究成果を報告すること で、洋学への理解と関心を深める。	津山市	1月29日	洋学資料館	一般市民	40人	50人	文化課 洋学資料館	○	目標値を上回る聴講者が得られ、内容も興味深くわかりやす いと好評。
46	1	津山洋学資料館だより 「洋学資料館」刊行事業	洋学資料館で実施した事業の報告や、資料紹介を掲 載し、市民の洋学学習に資する。	津山市	年2回(9月・ 3月)	洋学資料館	一般市民	2回	2回	文化課 洋学資料館	○	予定どおり実施。

事業番号	基本施策	事業名	事業目的・事業内容等	主催者	実施年月日	実施場所	対象者	R4計画 参加予定人数 (評価基準値)	R4実績 (参加人数等)	担当部課室名	事業評価 (達成度)	備考等
47	1	洋学研究誌『一滴』刊行事業	広く洋学全般に関する論文を掲載、市民の洋学学習に資する。	津山市	年1回(3月)	洋学資料館	一般市民	1冊	1冊	文化課 洋学資料館	○	予定どおり実施。
48	1	からだのしほみを学ぼう!	川崎医科大学現代医学教育博物館の協力により、クイズや工作を通じて人体への関心を深める(Zoomオンラインによる開催)。	津山市	8月27日	洋学資料館	一般市民	15人	11人	文化課 洋学資料館	○	新型コロナウイルス感染症対策のためオンラインでの開催を試みたが、まずまず好評であった。
49	5	津山まなびの鉄道館	津山に遺された鉄道遺産を後世に伝えて行くことにあわせて、鉄道の成り立ち、社会や地域とともに発展してきたあゆみ、仕組みの変遷について紹介し、社会や地域の発展と鉄道との関わりについて学ぶことを目的とする。	津山市観光協会	通年	津山まなびの鉄道館	一般市民	61,000人	58,000人	観光振興課	○	新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、入園者は、約5万8千人まで回復した。
50	5	農業体験学習	農業体験を通じ、農業の大切さや食の安全等学習機会の提供について、小学校、JA、生産者等関係機関・団体と連携し推進する。	小学校	夏(5~6月) 秋(9~10月)	各小学校周辺の田及び畑	小学生	350人	575人	農業振興課	○	田植えは4校244人、稲刈りは4校331人が参加し、市内8校において農業体験学習が実施された。
51	5	森林環境学習出前講座	森林の有する多面的機能や森林整備の必要性等に対する理解と関心を深めるとともに将来の林業の担い手を育成・確保することを目的として出前講座を実施する。	津山市	10月29日	加茂町字野	小学生及び保護者	55人/回	55人	森林課	○	予定どおり実施 アンケート調査は実施していないが、参加した小学生からは「植樹などの体験できて良かった」などの感想があった。
52	5	夏休み親子下水道教室	下水道の仕組みと働きを楽しく学び、人と水の関わりについて考えることにより、下水道の接続促進を図る。	津山市	-	-	-	-	-	下水道課	×	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

事業番号	基本施策	事業名	事業目的・事業内容等	主催者	実施年月日	実施場所	対象者	R4計画 参加予定人数 (評価基準値)	R4実績 (参加人数等)	担当部課室名	事業評価 (達成度)	備考等
53	2	国際交流ボランティア研修会	国際視野を持ったグローバル人材育成、多文化共生に向け国際化に関する理解を深めるための研修会	津山市	2月5日	東公民館	一般市民・国際交流サポートネット登録ボランティア	30人/回	16人/回	地域づくり推進室	○	予定どおり実施 参加者が少なかったが、アンケートの満足度が高かったため○と判定する(満足度87%)
54	2	日本語講師研修会	市が設置している津山日本語教室の企画・運営を行っている「津山にほんごの会」のボランティア講師を対象とした、教授技術向上のための研修会	津山市	9月11日	中央公民館	成人	15人/回	15人/回	地域づくり推進室	○	予定どおり実施 新型コロナウイルス感染症対策を行い実施
55	3	地域づくり応援事業	集落や町内会機能の維持が近い将来困難になることが予想される地域の住民と市が協働で集落等の機能の再編と地域活性化の取り組みを行う。	津山市	随時	市内	一般市民	14団体	14団体	地域づくり推進室	○	新型コロナウイルス感染症対策を行い会議等を実施した。終息に向かいつつある中で新たな事業に挑戦する地域もあった。
56	1	生涯学習講座（陶芸教室）	日々の生活にやすらぎと潤いを実感できるよう、市民を対象とした生涯学習講座(陶芸教室)を実施する。	津山市	毎月第2・4 土曜日	まなび館	一般市民	10人/回	10人/回	加茂支所 地域振興課	○	新型コロナウイルス感染症拡大防止に留意しながら、おおむね予定どおり実施した。
57	1	生涯学習講座（書道教室）	日々の生活にやすらぎと潤いを実感できるよう、市民を対象とした生涯学習講座(書道教室)を実施する。	津山市	毎月第1・3 水曜日	加茂町公民館	一般市民	8人/回	8人/回	加茂支所 地域振興課	○	新型コロナウイルス感染症拡大防止に留意しながら、おおむね予定どおり実施した。
58	1	生涯学習講座（歌声教室）	日々の生活にやすらぎと潤いを実感できるよう、市民を対象とした生涯学習講座(歌声教室)を実施する。	津山市	毎月第1木曜 日	加茂町公民館	一般市民	10人/回	9人/回	加茂支所 地域振興課	○	新型コロナウイルス感染症拡大防止に留意しながら、おおむね予定どおり実施した。

事業番号	基本施策	事業名	事業目的・事業内容等	主催者	実施年月日	実施場所	対象者	R4計画 参加予定人数 (評価基準値)	R4実績 (参加人数等)	担当部課室名	事業評価 (達成度)	備考等
59	1	津山加茂郷フルマラソン全国大会	津山市加茂郷の歴史・風土・特産品等を広く全国に紹介するとともに、参加者と住民の交流を深めることを目的としてフルマラソン大会を実施するもの。	津山加茂郷フルマラソン全国大会実行委員会	4月17日	加茂町スポーツセンター総合グラウンド	18歳以上全般	1,600人	1,088人	加茂支所 地域振興課 ・スポーツ課	△	エントリー:1,411人 当日疾走者:1,088人 エントリー数では目標達成
60	3	勝北シルバー大学	生活に関する講座や歴史研究(文化財巡り)、研修視察旅行などを行い、社会的視野を広げるとともに生きがいのある生活をすすめる、シルバー大学生相互の親睦を深める活動を行う。	津山市	5月24日 6月23日 10月7日 11月18日 12月16日 1月18日 3月17日	勝北文化センターほか	おおむね65歳以上の高齢者	42名 (R3年度登録者)	55名 (R4年度登録者)	勝北支所 地域振興課	○	年8回程度開催していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催できていない月がある。
61	1	勝北陶芸の里	陶芸の親睦を図り、地域の工芸技術の向上に寄与すると共に、市民相互の憩いの場を提供する。子ども高齢者、初心者から上級者まで楽しめ、世界でたった1つの作品を創作できる。	津山市	水曜日・金曜日・日曜日 ただし、年末年始(12月28日から1月4日まで)を除く日	勝北陶芸の里工房	一般市民	700人	728人	勝北支所 地域振興課	○	指導者不在のため引き続き開館日を縮小している。
62	1	子どもステージフェスティバル	地域のこども園や小中学校の学習成果や元氣っずひろばで活動している子ども達の成果の発表の場として開催する。	津山市	—	—	—	—	—	勝北支所 地域振興課	×	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
63	3	元氣っずひろば(バンビ勝北クラス)	毎週水曜日の放課後や冬・夏休みを利用した「元氣っずひろば」での各種体験と、講座毎に決まった曜日で開催される和太鼓や茶道、ダンスなどの専門講座により、子ども達の体験活動や家庭教育の支援を行い、夢を持ったたくましい子どもを地域で育てる。	元氣っずひろば実行委員会	4月～3月の火・水・土・日曜日	勝北文化センター・勝北公民館(ハートピア勝北)	津山市内の小中学生	450人	781人	勝北支所 地域振興課	○	天候不良による中止や延期があったものの、ほぼ予定どおりに実施できた。「夏休みふれあい工作デー」も開催でき、親子での多数参加があった。
64	1	ミュージックフェスティバルイン久米	子どもからお年寄りまで音楽を愛する多くの方が、日頃の練習の成果を発表する場として、また世代間の交流が深まる場として毎年開催するもの。	ミュージックフェスティバルイン久米実行委員会	12月	久米公民館	子どもからお年寄り	150人	103人	久米支所 地域振興課	○	新型コロナウイルス感染症拡大防止に留意しながら、おおむね予定どおり実施した。

事業番号	基本施策	事業名	事業目的・事業内容等	主催者	実施年月日	実施場所	対象者	R4計画 参加予定人数 (評価基準値)	R4実績 (参加人数等)	担当部課室名	事業評価 (達成度)	備考等
65	3	格致大学	高齢化社会の中で若さを失うことなく仲間とともに学び、社会参加を積極的に進め、自ら現代社会に適応するための学習。	津山市	年間9回	久米公民館	概ね60歳以上	110人	103人 (7回)	久米支所 地域振興課	○	新型コロナウイルス感染症拡大防止に留意し2回中止したが、おおむね予定どおり実施した。
66	3	久米キッズクラブ	子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。	久米キッズ クラブ運営 委員会	5月から1月 の土曜日(月 1回)と木曜日 (月2回)	久米公民館	小・中学生	30人	27人/回	久米支所 地域振興課	○	新型コロナウイルス感染症拡大防止に留意しながら、おおむね予定どおり実施した。
67	1	久米ふれあい陶芸センター	陶芸の振興を図り、地域の工芸技術の向上に寄与するとともに、市民に交流の場を提供する。	津山市・津 山市生涯 学習課	随時	久米ふれあい陶 芸センター	一般市民	70人 【変更後】 40人	35人	久米支所 地域振興課	○	新型コロナウイルス感染症拡大防止に留意しながら実施した。
68	3	阿波ふるさと祭り	恵まれた自然と農林業を活かし、地域住民と都市生活者など、地域内外の人々とのふれあいを通じて、産業の振興と観光の発展を図り、さらに阿波地域の活性化を目指す。	阿波ふるさと 祭り実行 委員会	—	—	—	3,000人	—	阿波出張所 地域振興課	×	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
69	3	阿波ふるさとふれあい納涼 星空祭り	阿波地域住民及び帰省客相互のふれあいと親睦を深め、あわせて地域の活性化を図る。	阿波ふるさと ふれあい 納涼星空 祭り実行委 員会	8月13日	あば交流館 駐車場	一般市民	300人	—	阿波出張所 地域振興課	×	イベントは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止したが、花火のみ実施。
70	4	社会教育関係者対象研修 会	社会教育委員、公民館長、教職員、行政職員等を対象に、社会教育活動で必要とされる指導者の人材育成などを進める。	津山市・津 山市教育 委員会	5月26日 6月20日 6月24日 10月27日 11月2日 11月18日 1月26日 3月14日	市内	社会教育委 員、公民館長 等	60人	62人	生涯学習課	○	公民館長を対象に、ヤングケアラーやZOOMIについての研修を実施した。 社会教育委員を対象に、コミュニティスクールについての事例発表や、教育施設の視察を行った。

事業番号	基本施策	事業名	事業目的・事業内容等	主催者	実施年月日	実施場所	対象者	R4計画 参加予定人数 (評価基準値)	R4実績 (参加人数等)	担当部課室名	事業評価 (達成度)	備考等
71	1	生涯学習に関する広報事業	生涯学習に関係する機関・団体を含めた学習情報を収集し、提供する。ホームページ・CATVなどのメディアを活用し情報提供する。県生涯学習センターとの連携を図る。	津山市	随時	社会教育施設	一般市民	—	—	生涯学習課	○	生涯学習講座などイベント情報を広報つやま、防災無線、市ホームページなどに掲載した。また、生涯学習講座情報や講師情報を、県生涯学習センターのばるネット岡山に提供した。
72	4	生涯学習推進懇談会の開催	市民の有識者で構成し、津山市の生涯学習の推進に関し、必要な事項を調査・審議し、その結果を市長に提言する。	津山市	11月2日	津山東公民館	生涯学習推進懇談会委員	1回	1回	生涯学習課	○	生涯学習関連事業の前年実績・今年度計画について報告した。
73	2	津山市生涯学習人材バンク	各地域における講師・指導者の人材情報を集約し、民間や企業などの新たな人材の掘り起こしを行い、これらの情報を「津山市生涯学習人材バンク」として整備し、利活用を図る。パネル展を実施する等、人材バンクの周知を図る。	津山市	—	—	一般市民	—	—	生涯学習課	○	登録者(4月末)142(個人115、団体・企業27)件 人材バンク登録リストのHP掲載、小中学校、公民館等へ人材バンク登録者リスト、人材バンク新聞の配布、パネル展の開催(2回)「津山市生涯学習人材バンク新聞」の発行(2回)を行った。
74	1	生涯学習講座	時代とともに変化する市民ニーズを調査し、多様なニーズに対応できるよう学習プログラムを改善し、講座を開催する。	津山市	①7月27日 ②8月10日 ③2月5日	①中央公民館 ②庁内 ③市立図書館	一般市民	90人	①14人 ②19人 ③21人 計54人	生涯学習課	○	①ジャマイカの食文化、JICAの活動について理解を深めた。 ②色塗りを通して自分を表現することの楽しさを学んだ。 ③桃源郷をテーマに、中国古典および中国の思想について学んだ。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため募集人数を縮小したが、アンケート満足度の平均が85%であったため、○とする。
75	1	大人の社会見学	一般市民を対象に津山市にある施設等を見学し、地域について学ぶ機会を提供する。令和4年度は津山の史跡を巡り、郷土の歴史について学ぶ。	津山市	①9月27日 ②10月22日 ③11月12日	①弥生の里文化財センター ②城東地区 ③城西地区	一般市民	15名/回	①12名 ②16名 ③13名	生涯学習課	○	①弥生時代の生活の様子、道具の変遷について学んだ。 ②城東の重伝建地区を歩きながら、時代背景や建物の特徴を学んだ。 ③城西の重伝建地区を見学し、江戸時代からの歴史の名残について理解を深めた。 (アンケート満足度は3回平均97%)
76	1	生涯学習情報紙「まなびい」発行	市内で開催される生涯学習講座や教室の情報を冊子にまとめ配布することにより、学習機会の提供を行い、生涯学習の振興を図る。	津山市	毎年4月発行	—	一般市民	1回	1回	生涯学習課	○	市内で開催される生涯学習講座や公民館講座の情報を全戸配付し、学習機会の提供を行った。

事業番号	基本施策	事業名	事業目的・事業内容等	主催者	実施年月日	実施場所	対象者	R4計画 参加予定人数 (評価基準値)	R4実績 (参加人数等)	担当部課室名	事業評価 (達成度)	備考等
77	3	青年学級	知的障害者(青年)と保護者・ボランティアが年5回程度様々な学習活動に取り組み、知的障害者の生涯学習の振興を図る。	青年学級	①5月15日 ②7月17日 ③10月16日 ④12月11日 ⑤2月26日	①中央公民館 ②ユーズボウル津山店 ③中央公民館 ④中央公民館 ⑤ザヒルズハウス津山	16歳以上の知的障害者とその家族・ボランティア	延べ75人	延べ60人	生涯学習課	○	料理やフラワーアレンジ・こけ玉作りなどの創作活動、ハイキングやボウリングといった運動など、様々な学習活動に取り組んだ。
78	1	大人のまなびい教室	津山の資源や人材を活用して市民に学びの機会を提供する。学んだことを受講者が地域や家庭に持ち帰り、それを広める。	津山市	①7月14日 ②8月26日 ③9月22日 ④10月14日	市内各所	市民	30人/回	①25名 ②30名 ③18名 ④20名	生涯学習課	○	食をテーマに地域の人材や企業、資源を活用した4回の連続講座を開催し、市民の生涯学習活動のきっかけとした。アンケート満足度(4回平均77%)
79	5	青年討論会	毎回、時勢のテーマを設定のうえ議論を深め、青年の社会参加と地域の活性化を図る。	津山市青年団体連絡協議会	2月20日	庁内	青年	1回	1回(座談会)	生涯学習課	○	津山市青年団体連絡協議会の活動の歩み、津山の青年層の現状や青年へのメッセージなど、会員と市長で座談会を行った。
80	5	美作学講座	美作大学との包括連携協定に基づき、共催で美作学講座を開催する。	津山市・美作大学	①11月19日 ②2月25日	美作大学	市民	延べ300人 (各回100人程度)	延べ143人	生涯学習課 市史編さん室	○	津山・美作地域の歴史について理解を深めた。アンケート満足度(2回平均79.8%) 新型コロナウイルス感染症の影響により第1回は中止としたため、講座数は減少したが、アンケート満足度を加味して○判定とする。
81	3	リクエスト大学	市民の注文に応じて、市職員を派遣する。市職員が講師となり、市が行っている仕事の中で市民が聞きたい、知りたいことを届ける。	津山市	随時	市内	一般市民	7,500人	9,174人	生涯学習課	○	幅広く市民に活用してもらうため、チラシを市内公民館や図書館へ配布した。
82	3	公民館文化祭	生涯学習種の普及・啓発のため、市民団体等と協働して生涯学習活動の成果を発表・展示する。	津山市・実行委員会	9月～3月	公民館ほか	市民	延べ10,000人	延べ8,737人	生涯学習課 中央公民館	○	新型コロナウイルス感染症拡大防止より開催を中止した館は23館中3館であった。開催実施した20館についても、例年より事業を縮小して開催した。

事業番号	基本施策	事業名	事業目的・事業内容等	主催者	実施年月日	実施場所	対象者	R4計画 参加予定人数 (評価基準値)	R4実績 (参加人数等)	担当部課室名	事業評価 (達成度)	備考等
83	3	公民館での主催講座・自主講座	市民の学習ニーズを把握し、学習機会を提供する。	津山市・講座団体	通年・随時	公民館	市民	延べ20万人	延べ 246,720人	生涯学習課 中央公民館	○	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行いながら実施。 延べ回数25,591回。
84	5	公民館での歴史講座	地域の歴史遺産を掘り起こすことで郷土の歴史を再認識し、郷土への愛着を深める。	津山市・講座団体	通年・随時	公民館ほか	市民	延べ560人	延べ434人	生涯学習課 中央公民館	○	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、1講座中止(活動内容により)したことから、計画上の人数は当初の700人⇒560人に修正。
85	4	公民館運営への市民参画	津山市公民館運営審議会や公民館ごとの活動推進協議会で公民館運営に係る意見を聴取する。	津山市	随時	公民館	委員	342人	341人	生涯学習課 中央公民館	○	津山市公民館運営審議会は中央公民館において2回実施。 活動推進協議会は各公民館において随時実施。
86	1	図書館まつり	生涯学習の普及・啓発や図書館利用・読書推進のためボランティア等と協力して実施する。	津山市	2月1日 ～2月27日	図書館	児童 一般	20人	250人	生涯学習課 市立図書館	○	予定どおり実施 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、本館と地区館3館を巡るスタンプラリーを行い、イベントを実施した。
87	1	読書週間行事	生涯学習の普及・啓発や図書館利用・読書推進のための事業を実施する。	津山市	年2回	図書館	児童 一般	50人	80人	生涯学習課 市立図書館	○	予定どおり実施 4月～5月の子ども読書週間と10月～11月の読書週間にそれぞれ行事を実施。5月の行事では80人の参加があった。
88	1	津山市 図書館を使った調べる学習コンクールの開催	児童・生徒が、「自ら考え、課題解決する力」や「生きていく力」を養うために、「調べる学習」を行う場を設け、コンクールを開催する。	津山市	6月～9月	津山市立図書館・文化課各施設等	小・中学生	—	—	生涯学習課 市立図書館	○	予定どおり実施 調べる学習説明会、勉強会、相談会等を実施し、小学生224作品の応募があり、審査会、表彰式を開催した。



事業番号	基本施策	事業名	事業目的・事業内容等	主催者	実施年月日	実施場所	対象者	R4計画 参加予定人数 (評価基準値)	R4実績 (参加人数等)	担当部課室名	事業評価 (達成度)	備考等
89	1	自動車文庫推進事業	図書館遠隔地、小学校、幼稚園、老人施設、集客施設等を中心に定期的巡回し、読書推進を図る。	津山市	通年・毎月	市内全域	一般・園児・児童・教職員	貸出冊数 28,000冊	貸出実績 30,124冊	生涯学習課 市立図書館	○	予定どおり実施 毎月市内36ヶ所を巡回し、令和4年度は30,124冊の貸出を行い、読書推進を図った。
90	2	ボランティアグループ等との連携	ボランティアグループなどとの連携による読み聞かせやむかし話を楽しむ会、おはなし会などを開催する。	津山市	通年・随時	津山市立図書館内	ボランティアグループ及びボランティア活動の意志がある個人	30人	44人	生涯学習課 市立図書館	○	予定どおり実施 読み聞かせや布絵本の作成、昔話を楽しむ会、ストーリーテリング、書架整理など44人のボランティアが活動を行った。
91	3	つやまっ子読書プラン推進事業	音読大会や読書インタビューなど子どもの読書活動の大切さを啓発する。また、読み聞かせボランティアや指導者の育成などを行う。	津山市	通年・随時	市内	一般市民	100人	226人	生涯学習課 市立図書館	○	予定どおり実施 読み聞かせキャラバン8回/年、教科書音読発表会、ボランティア研修会等を開催。226人の参加者があった。
92	3	幼・保・小・中との連携による読書推進	幼・保・小・中との情報交換に努め、児童・生徒の読書支援のための長期間の貸出、授業支援のための参考図書の貸出を継続的に行う。	津山市	通年・随時	津山市立図書館内	学校関係者・保育所関係者・児童・生徒	貸出冊数 30,000冊	貸出実績 49,600冊	生涯学習課 市立図書館	○	予定どおり実施 幼児・児童・生徒の読書支援のため、絵本や児童書、調べ学習用資料など49,600冊の貸出を行った。
93	3	市内高校・大学との連携事業(図書館相互協力の推進)	美作大学・津山高専との三館連携、市内の全高校との連携を発展させる。	津山市	通年・随時	津山市立図書館内	高校・高専・大学関係者・学生	貸出冊数 1,000冊	貸出実績 1,233冊	生涯学習課 市立図書館	○	予定どおり実施 美作大学、津山高専、市内高校との連携により1,233冊の貸出を行い、連携を発展させた。
94	3	津山圏域定住自立圏図書館相互協力事業	津山市を中心館として鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町の各図書館と協力し地域の生涯学習を推進する。	津山市	通年・随時	津山圏域内	圏域住民	相互返却 1,000冊	返却実績 4,858冊	生涯学習課 市立図書館	○	予定どおり実施 津山市を中心館として1市5町で相互協力事業を実施し地域の生涯学習を推進した。相互返却冊数3,969冊。

事業番号	基本施策	事業名	事業目的・事業内容等	主催者	実施年月日	実施場所	対象者	R4計画 参加予定人数 (評価基準値)	R4実績 (参加人数等)	担当部課室名	事業評価 (達成度)	備考等
95	3	健康支援サービス、津山中央病院医療情報プラザとの相互協力事業	入院患者やその付き添い親族を対象に同病院医療情報プラザへ団体貸出を行うとともに、医療健康情報等の発信・共有化を推進する。	津山市	通年・随時	津山市立図書館(本館)及び津山中央病院医療情報プラザ	一般市民・病院入院患者等	貸出冊数 1,000冊	貸出実績 1,101冊	生涯学習課 市立図書館	○	予定どおり実施 新型コロナウイルス感染症予防対策を行いながら、入院患者や病院関係者を対象に団体貸出を実施した。
96	3	放送大学岡山学習センター津山教室充実事業	県北在校生の履修科目の教材の収集・配架を行い、利便性の向上を図るとともに、同大学教授陣による講座を定期的に開催し、市民へ更なる生涯学習を推進する。	津山市	通年・随時	津山市立図書館内研究室	一般市民・在学生	30人	32人	生涯学習課 市立図書館	○	予定どおり実施 化学や文学などをテーマに年2回開催し市民や学生32人の参加者があり、生涯学習の推進に繋がった。
97	3	ビジネス支援事業	ビジネス関連の課題解決に向け、市民・利用者の就職活動、起業、能力アップを支援するため、ビジネス支援セミナー、各種講演会、情報コーナーの拡充を推進する。	津山市	通年・随時	津山市立図書館内	一般市民	30人	40人	生涯学習課 市立図書館	○	予定どおり実施 ビジネス講演会を年3回実施し、40人の参加者。ビジネス情報コーナーはサインを更新するなどリニューアルを行った。
98	3	高齢者サービス事業	図書館で作成した回想法キットの貸出と利用促進と併せて高齢者向けの講座や資料の紹介などを行う。	津山市	通年・随時	津山市立図書館内	高齢者・介護者	50人	39人	生涯学習課 市立図書館	○	回想法キットの貸出はなかったが、大人のための音読会など高齢者向けの講座を開催。資料の紹介なども行った。音読会は年6回開催し、39人の参加。
99	4	団体貸出推進事業	図書館の団体貸出を使って、地域や職場、施設への読書支援を強化、さらにミニ図書館の開設を促す。	津山市	通年・随時	市内全域	一般市民及び読書グループ	新規5団体	10団体	生涯学習課 市立図書館	○	予定どおり実施 図書館の団体貸出として10団体が新規登録を行った。サテライト貸出システムカリコレに1団体が登録した。
100	3	健康セミナー事業	健康を題材として、多角的テーマで講演会を開催。関連本の紹介や健康のパネル展を開催し、市民生活に役立つ情報提供を推進する。	津山市	通年・随時	津山市立図書館内	一般市民	25人	72人	生涯学習課 市立図書館	○	予定どおり実施 健康セミナーを年3回実施。72人の参加者があった。健康パネル展はがんや認知症、糖尿病などをテーマに約2ヶ月間開催した。

事業番号	基本施策	事業名	事業目的・事業内容等	主催者	実施年月日	実施場所	対象者	R4計画 参加予定人数 (評価基準値)	R4実績 (参加人数等)	担当部課室名	事業評価 (達成度)	備考等
101	3	読書バリアフリー推進事業	岡山県視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する計画(読書バリアフリー計画)に基づき、大活字本や朗読CD、LLブックなどを紹介するコーナーを新たに設置する。	津山市	通年	津山市立図書館内	一般市民 児童・生徒	—	—	生涯学習課 市立図書館	○	予定どおり実施 新刊コーナーと児童コーナー2箇所読書バリアフリーコーナーを設置。障害の有無にかかわらず文字・活字文化の恵沢を享受できる環境作りを行った。
102	1	スポーツ協会加盟種目団体スポーツ教室	野球・柔道・陸上等のスポーツ協会加盟種目団体が各種教室を開催することにより、小・中学生の健全育成を図る。	各種目団体	通年	市内各所	小・中学生	13教室 700人	12教室 1,605人	スポーツ課	○	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため1教室は中止
103	1	モーニングスポーツ(卓球・ビクセルボール・バドミントン)	市民が自主的にスポーツに取り組むことにより、健康づくり・体力づくりを図る。	津山市	通年(火・金曜日)	津山総合体育館他	一般市民	600人	568人	スポーツ課	○	予定どおり実施
104	1	つやまスポーツフェスティバル	生涯スポーツ社会の実現に向けて、市民がスポーツを身近に感じてもらう機会を提供することにより、体力づくりに寄与する。	つやまスポーツフェスティバル実行委員会	10月9日	津山陸上競技場周辺	一般市民	2,000人	4,000人	スポーツ課	○	予定どおり実施
105	1	ニュースポーツ教室等	市民がスポーツに親しむ環境を提供し、ニュースポーツ・グラウンドゴルフ・にこにこ体操カトレーニング・親子チャレンジ教室を通じて生涯スポーツの振興を図る。	津山スポーツ振興財団	春季に8～10週	津山総合体育館	幼児～高齢者	500人	150人	スポーツ課	×	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため秋季教室を中止。
106	3	水道局の仕事	リクエスト大学の講座として、小学校4年生の社会科の授業に出てくる内容に合わせて、水道局の仕事の内容と浄水のできるまでを、パンフレットとビデオで説明する。	水道局	随時	浄水場及びその他	小学生	500人	682人	経営企画室	○	予定どおり実施

事業番号	基本施策	事業名	事業目的・事業内容等	主催者	実施年月日	実施場所	対象者	R4計画 参加予定人数 (評価基準値)	R4実績 (参加人数等)	担当部課室名	事業評価 (達成度)	備考等
107	3	浄水場の仕事	河川から取水した水が、安心して飲める水となるまでの工程や安全管理などを実際に見ていただいて、水道事業に理解を深めていただく。	水道局	通年	浄水場	一般市民ほか	50人	45人	経営企画室 小田中浄水場 草加部浄水場	○	予定どおり実施
108	5	「つやま郷土学」推進事業 (「My Townつやま」活用事業)	【目的】地域に根ざした学びをすすめる、ふるさとを理解しふるさとを愛する心を培うことをねらう。【内容】学校や地域の特色を生かした取組を支援し、地域人材を活用するなど地域に密着した体験活動を行う。※「市内の6年生が洋学資料館・郷土博物館等を訪れるなど、地域の先人や伝統・文化の学習」を行う。	津山市教育委員会 各学校	通年	各学校 各地域	児童生徒及び地域の人材	2,000人	9,615人	学校教育課	○	小中学校の全学年で教育課程に位置付けて実施した。全ての小学校6年生は津山洋学資料館での学習を行った。今年度新たに、三津同盟(津山市、中津市、津和野町)の教育分野での交流を林田小学校6年、鶴山小学校6年が実施した。また、津山市出身の芸術家・彫無季氏に関する学習を南小学校、北小学校が行った。
109	3	チャレンジ・ハッピーデー	【目的】子どもたちの生活習慣を確立するとともに、家庭での有意義な時間の過ごし方が創造できることを目指す。【内容】重点月間とする6月と11月に「チャレンジ・ハッピーデー」ウィークを定め、夢や目標、好きなことについて親子で話す、ノーマディアチャレンジをする、親子いっしょに絵本を読んだり読書の感想を話したりする取組を行う。	津山市教育委員会 各学校	6月・11月	各家庭	児童生徒 保護者	8,000人	13,621人	学校教育課	○	全小中学校で年2回実施した。小学校低・高学年、中学校用にワークシートを作成し、学校を通して各家庭で取り組んだ。
110	3	つやま元気大賞	【目的】児童生徒の主体的な活動や学校が一丸となった教育活動、また、教職員の創意工夫溢れる教育指導実践、PTA団体や健全育成団体の活動等において、優れた成果や他の模範となる取組に対して、広く表彰することを通して、津山市の学校や地域を元気にする。	津山市教育委員会	通年	各学校 各地域	市内小中学校児童生徒・ 小中学校及び中学校区・ PTA団体・健全育成団体等	800人	2,377人	学校教育課	○	【応募数】R3:20件→R4:34件 様々な特徴的取組がみられた。個人の部1件、団体の部3件が大賞。その他はすべて優秀賞。 【個人の部大賞】上田繁男氏 【団体の部大賞】宮部川ホテルンジャーの会、津山市立成小 小学校PTA、城西まちづくり協議会
111	3	朝食づくり講座	簡単にできる朝食づくりを親子で学び、健康づくりに欠かせない朝食の習慣化を図ることを目的に市P連役員出演の動画を作成し、ホームページ上で公開した。	津山市教育委員会 津山市PTA連合会	12月	市内	小中学校保護者	20人	動画視聴 102回	学校教育課	○	コロナ禍のため、対面実施の代わりとして、市PTA連合会役員が出演し、「わかめたぬきおにぎり」「レンジでふわふわたまご」の調理動画を作成し、ホームページで公開した。
112	3	PTA研修会(小中学校)	津山市PTA連合会の研修	津山市PTA連合会	年5回	津山総合福祉会館等	成人(PTA)	100人	206人 動画視聴 102回	学校教育課	○	スマホ等ルールづくり、コミュニティ・スクール、子どもの命、朝食づくり、インターネットについての研修会を計5回実施した。

事業番号	基本施策	事業名	事業目的・事業内容等	主催者	実施年月日	実施場所	対象者	R4計画 参加予定人数 (評価基準値)	R4実績 (参加人数等)	担当部課室名	事業評価 (達成度)	備考等
113	3	PTA研修会(幼稚園)	津山市幼稚園PTA連絡協議会の全体研修	津山市立幼稚園PTA連絡協議会	年1回	市内	園長・幼稚園PTA	50人	88人	学校教育課	○	コミュニケーションに関する研修を実施した。
114	3	地域学校協働活動	地域住民による学校支援ボランティアの活動推進、高校生・大学生等若者ボランティアの積極的な活用等を通して、学校・地域のつながりを強めるとともに、全小中学校でボランティア活動等の地域貢献活動に取り組み、子どもたちの社会性を育成する。	津山市教育委員会	通年	市内各小中学校、公民館等	一般市民	—	学校支援ボランティア活動年間活動延べ人数 29,956人	学校教育課	○	年間活動延べ日数6,708日
115	3	学校支援ボランティア制度の推進	生涯学習で身につけた経験や特技などを、子どもたちや学校のために活かせる仕組みづくりを構築する。	津山市教育委員会	随時	市内各小中学校	一般市民	2,000人	2,029人	学校教育課	○	学習支援、読み聞かせ、登下校見守り、環境整備、学校行事の引率等を行った。
116	3	地域学校協働活動推進員研修会	地域と学校の連携・協働を効果的に進めることができるように、日頃の実践の成果や課題等を共有するとともに、国や県の好事例等の情報提供を行い、地域学校協働活動推進員の資質向上を図る。	津山市教育委員会	11月24日	市内	地域学校協働活動推進員等	30人	25人	学校教育課	○	令和6年度までの全小中学校コミュニティ・スクール導入に向けて、コミュニティ・スクールについての内容を取り入れ、年1回実施した。
117	3	英語暗唱大会	中学生の英語に対する興味・関心と国際意識の高揚を図り、国際人としての基礎的人間性の育成に寄与する。	中学生英語暗唱大会実行委員会	10月29日	市内	中学生	12人	13人	学校教育課	○	予定どおり実施
118	3	家庭教育推進事業	基本的な生活習慣の乱れ、社会的規範意識の低下、スマホ等の長時間利用、自己肯定感の醸成などの課題が指摘されているなか、一人ひとりの親が家庭を見つめ直し、それぞれ自信をもって子育てに取り組むことができるよう、親に対する子育てワークショップ等を開催する。	津山市教育委員会	随時	市内幼・保・小・中学校等	幼保・小中学生の保護者	3,000人	4,133人	学校教育課	○	【開催回数】親学講座(講演会):15回、新しい親学講座:16回、家族ふれあい教室:8回、子育てワークショップ:51回 子育てワークショップアンケート(満足度肯定的評価:約99%) 新たに、津山市家庭教育支援チームによる子育て相談事業を試験的に実施した。

事業番号	基本施策	事業名	事業目的・事業内容等	主催者	実施年月日	実施場所	対象者	R4計画 参加予定人数 (評価基準値)	R4実績 (参加人数等)	担当部課室名	事業評価 (達成度)	備考等
119	3	家庭教育支援指導者研修会	子育てワークショップのファシリテーターやボランティアなど、家庭教育支援者の養成と資質の向上を図るため、研修会・交流会を開催する。	津山市教育委員会	5月13日 8月25日 9月26日 11月21日 1月31日	市内	家庭教育指導者	20人	38人	学校教育課	○	津山市家庭教育支援チームによる新規の子育て相談事業「子育てトークルームほかほか」に向けて、真庭市から講師を招いた研修等を行った。
120	3	つやま子ども未来塾	ふるさと津山の歴史・文化・観光資源等を学ぶことにより、自分の住んでいるまちを誇りに思い、津山市の歴史や文化、観光を発信、PRできる人材を育成する。	津山市教育委員会	随時	市内各所	小学生・中学生(親子)	15人/回	17人/回	学校教育課	○	子ども観光ガイド育成塾・小学生親子対象企業見学ツアー・津山産食材を使った郷土料理教室・作陽高校サッカー部によるサッカー教室等6講座を実施した。子ども観光ガイド育成塾アンケート(全4回「楽しかったか」肯定的評価:約93%、「津山がより好きになったか」肯定的評価:約96%) その他5講座アンケート(満足度肯定的評価:約98%、「津山がより好きになったか」肯定的評価:約92%)
121	3	放課後子ども教室	放課後や土日、長期休業中などに主に小学生を対象に、地域の協力を得て居場所づくりを進め、体験学習や地域学習のほか、学習支援なども進める。	津山市教育委員会	随時	市内20カ所	小学生	21教室	21教室	学校教育課	○	新たに3教室で実施
122	3	夏休み親子料理教室	食への関心を高めることを目的に親子で楽しく料理をしたり調理の基礎知識を身に付ける機会を提供する。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から未実施とし、代替としてレシピ集作成・配布	岡山県学校給食会 津山市学校給食会 津山市教育委員会	7月	各小中学校	小学生及びその保護者	小学校27校 中学校8校	小学校27校 中学校8校	保健給食課	○	予定どおり実施 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、代替としてレシピ集「おうちで作ろう!学校給食おすすめレシピ」を作成・配布した。あわせて市ホームページへ掲載した。
123	1	学校食育センター見学	津山市立学校食育センターの見学を通じて、学校給食への理解を深めることを目的に、希望に応じて実施する。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から対象を限定して実施	津山市教育委員会	随時	津山市立学校食育センター	園児 小中学生	幼稚園3園 小学校3校	幼稚園2園 小学校3校	保健給食課	○	新型コロナウイルス感染防止対策として対象を限定して実施した。
124	3	吉井川漁協との連携事業 親子料理教室	親子の交流、男性家事参加、地域学習を目的に、吉井川漁業協同組合と連携し、親子料理教室を実施	津山市教育委員会 津山市学校給食会	—	—	—	—	—	保健給食課	×	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

事業番号	基本施策	事業名	事業目的・事業内容等	主催者	実施年月日	実施場所	対象者	R4計画 参加予定人数 (評価基準値)	R4実績 (参加人数等)	担当部課室名	事業評価 (達成度)	備考等
125	3	つやま子ども野外塾	野外活動の基礎的技術の習得、キャンプを通じた実践などの体験活動を通じ、参加者が友情を深めながら心身ともに成長することを図る。	津山市子ども会連合会	8月21日	阿波森林公園	津山市子ども会連合会会員	20人	20人	次世代育成課	○	予定どおり実施
126	1	子どもまつり事業	関連団体と連携して子どもたちの健全育成を図る。	津山市子どもまつり実行委員会	11月6日	グリーンヒルズ津山	幼児・小学生・保護者	200人	143人	次世代育成課	○	予定どおり実施
127	3	津山っ子こころのふれあいトーク	大人と中学生との意見交換を通じて、健全育成活動の充実を図る。	津山っ子を守り育てる市民の会	12月3日	グリーンヒルズ津山 リージョンセンターベンタホール	成人・中学生	100人	94人	次世代育成課	○	予定どおり実施
128	1	教育講演会	不登校やいじめ等、教育問題を中心に、子どもたちの社会的自立に資するため、主に子育て世代や教育関係者と一緒に考えるための講演会。	津山市教育委員会	8月1日	久米公民館	教職員	50人	82人	次世代育成課 鶴山塾	○	予定どおり実施
129	1	心の子育てフォーラム	子どものこころの問題を中心に、子どもたちの生きる力を育むため、主に子育て世代と一緒に考えるための講演会	津山市教育委員会	11月19日	津山東公民館	一般市民	30人	27人	次世代育成課 鶴山塾	○	予定どおり実施